

④8道の駅猪苗代

受賞機関 福島県 耶麻郡 猪苗代町

キーワード 特別豪雪地帯の環境へ対応、地元木材使用、防災拠点**全建賞審査委員会の評価ポイント**

「地域振興施設」「防災拠点施設」「総合観光案内」の機能を有する「道の駅猪苗代」を木造平屋建て（一部RC造）で建築した事業。

特別豪雪地帯という地理的・気象的に厳しい条件をよく考慮するとともに、地元木材を積極的に活用するなど地域振興への意識がよく伺える点や、防災拠点施設としての機能も確保されており、地域の拠点としての役割をよく考慮した施設となっている点が評価された。

1. はじめに

猪苗代町は福島県のほぼ中央に位置し、磐梯山と猪苗代湖を有する県内有数の観光地である。

春は桜、夏は猪苗代湖での湖水浴やジェットスキー、秋は紅葉、冬は町内に点在するスキー場でのスキーやスノーボードなど四季を通して多くの皆様にお越しいただいている。

道の駅猪苗代は、基本理念を「ひと・もの・情報をつなぎ会津を、そして猪苗代を元気にする道の駅」とし、基本方針を「自然景観を楽しみながら町民も来訪者も快適な休憩ができる道の駅」「会津の玄関口として広域的に的確な情報を受信・発信する道の駅」「地場産品を味わい農業と自然を体験できる道の駅」「町民と道路利用者が安心して避難できる道の駅」として県内初の重点道の駅の指定を受け整備した。

2. 事業の概要

道の駅猪苗代は「地域振興施設」「防災拠点施設」「総合観光案内」の機能を有する施設である。

施設規模は大断面集成材の木造平屋建て（一部RC造）、建築面積2,504㎡、延べ床面積2,035㎡であり、建築物は自然景観に調和するよう、大屋根で切妻、木造平屋建ての落ち着いた色合いの外観とし、建造物に温もりを醸し出させるため地元会津産の木材をふんだんに使用した。



自然景観に配慮した外観 裏手に磐梯山が望む

猪苗代町は特別豪雪地帯で、屋根の落雪、雪庇の落下が懸念されたが雁木部分の屋根形状をフラットにし、切妻屋根の雪を留めることが可能となった。

また、雁木の笠木部分にヒーターを設置することで、雪庇の発生を防ぎ、落雪を防止することができた。

24時間使用する情報コーナー及びトイレなどには、地中熱を利用したヒートポンプ床暖房設備を採用し、省エネルギー対策を行うとともに、職員のいない深夜の時間帯でも凍結による事故を防止し安全性の向上を図った。

道の駅猪苗代は本町の防災拠点として備蓄倉庫やヘリポートを整備した。太陽光発電、空調設備をEHP、GHP（自家発電機能付）、地中熱熱利用ヒートポンプの床暖房とし、厨房設備をガス利用の調理器具とすることで、エネルギー源と熱源を分散し、災害時の停電等のリスクを軽減している。



会津産の松を利用した大断面集成材の梁・柱

3. 事業の成果

道の駅猪苗代は、オープン1周年となる昨年11月には、計画を大きく上回る来場者数100万人を達成し、地場産品を活用し道の駅主導で開発した6次化製品も大変好評である。昨年10月にはヘリポートが完成し、防災拠点としての機能を充実させた。

4. おわりに

道の駅猪苗代は磐越自動車道「猪苗代磐梯高原IC」のすぐそばにあり、高速道路から道の駅猪苗代に立ち寄っても、1時間以内であれば高速料金が据置きとなる県内初の「賢い料金の実施対象道の駅」である。自然景観を満喫できる道の駅猪苗代へお越しください。

賛助会員 (株)オオバ工務店、(株)復建技術コンサルタント、渡部産業(株)